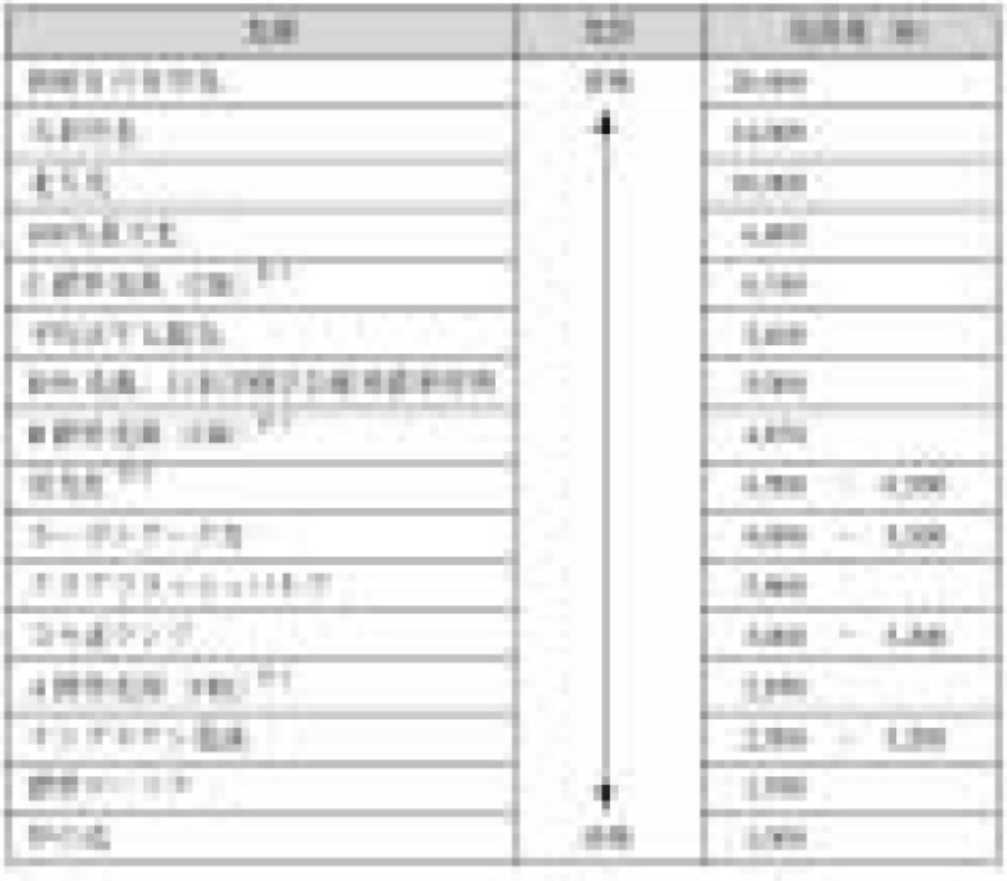
光源の違い



演色評価法

光源のもとでの色の見え方が、同じ色温度の基準光源での見え方にどれだけ近いかを表したのが演色評価数（Ra）です。演色評価数が100 に近いほど高演色性の照明光源といえます。光源は色温度で選択し、さらに演色評価数の確認を行います。日本印刷学会の標準光源では演色評価数Ra を90以上としています。蛍光灯では、型番EDLの色温度5000K で演色AAA（演色評価数Ra99）を選択します。